



国土交通省 近畿地方整備局
淀川河川事務所

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-2-10 TEL.072-843-2861(代)
ホームページ <http://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/>



阪神なんば線淀川橋梁 改築事業について

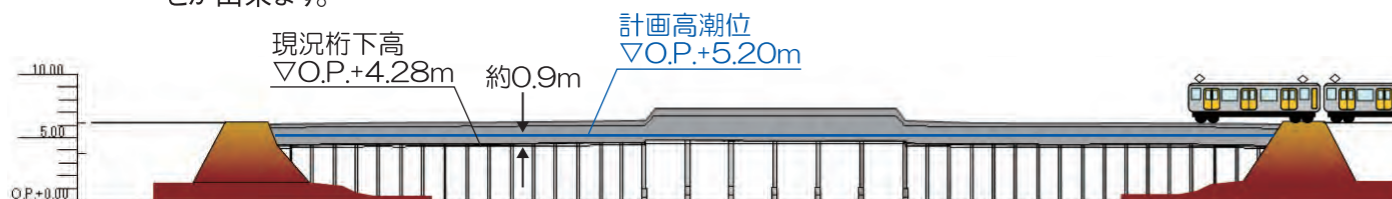
（地域のみなさんの安心・安全な生活を
守るために必要な事業です。）



阪神なんば線淀川橋梁を改築する必要性と効果

1 橋脚を減らすとともに桁下高を上げることで洪水を流れやすくします。

現在の橋梁は、39本と多くの橋脚があるとともに、桁下高が計画高潮位を下回っていますので、洪水の流れを阻害し、河川整備計画で目標としている洪水が発生した時には、上流で堤防が決壊するおそれがあります。橋梁を改築することで、橋脚数を減らすとともに、桁下高が上がり、洪水を安全に流すことが出来ます。

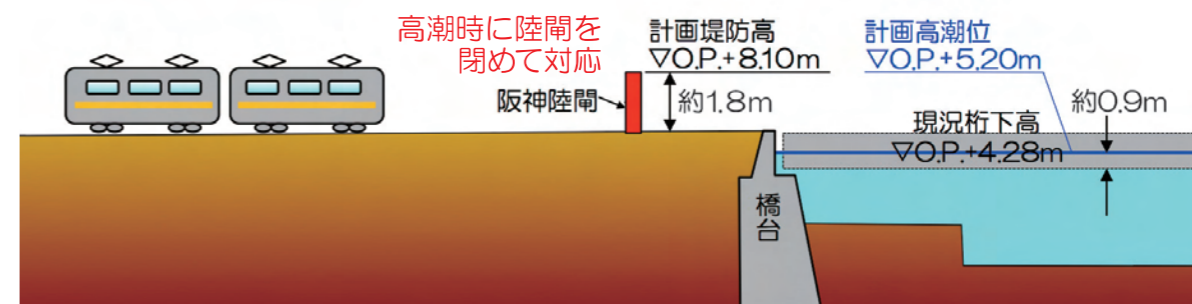


河川整備計画で目標としている洪水に対する浸水被害想定 (改築前)



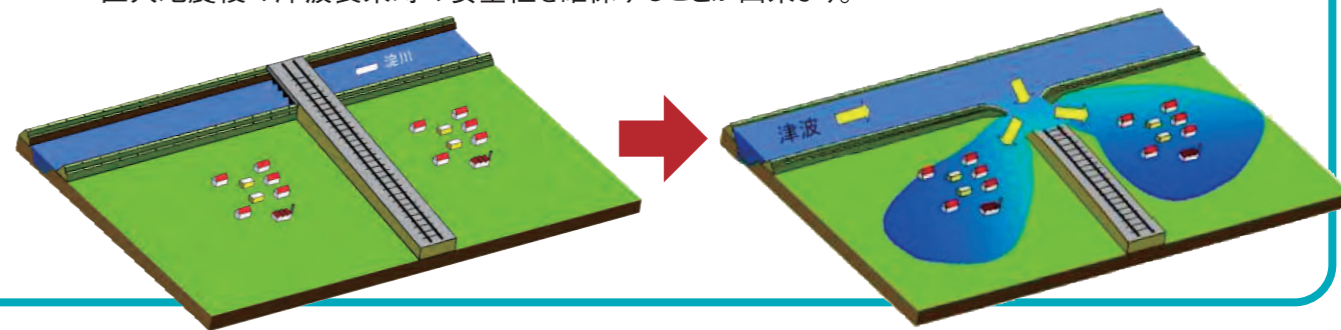
2 橋桁を上げ陸閘をなくすことで高潮時の陸閘操作がなくなります。

現在の橋梁は計画堤防高より低く、桁下高が計画高潮位を下回っていますので、現状は堤防に橋桁が切り込む形になっており、高潮時には陸閘を閉鎖することで対応している状況です。もしも陸閘の閉鎖が間に合わなかった場合には、高潮時の波の影響でまち側にはん濫を引き起こす可能性があります。橋梁を改築することで、橋脚数を減らすとともに、桁下高が上がり、高潮時の安全性を確保することが出来ます。



3 大規模地震時に津波の越水を防ぐことができます。

南海トラフ巨大地震のような巨大地震が発生した場合には、阪神なんば線と堤防が交差する箇所では堤防が沈下するおそれがあり、津波襲来時の越水でまち側にはん濫を引き起こす可能性があります。橋梁を改築することで、橋脚数を減らすとともに、桁下高が上がり、鉄道と堤防の交差部分がなくなり、巨大地震後の津波襲来時の安全性を確保することが出来ます。

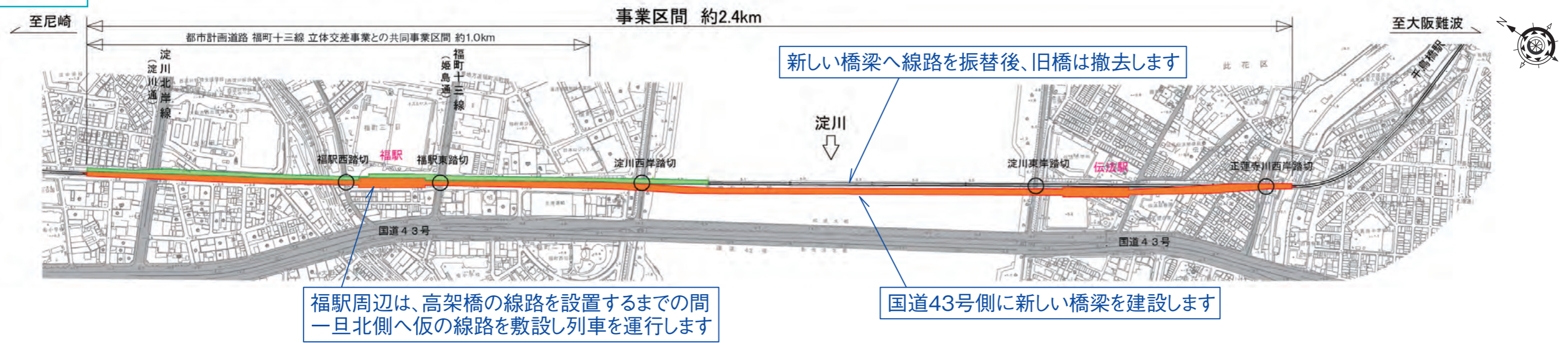


阪神なんば線淀川橋梁の改築計画

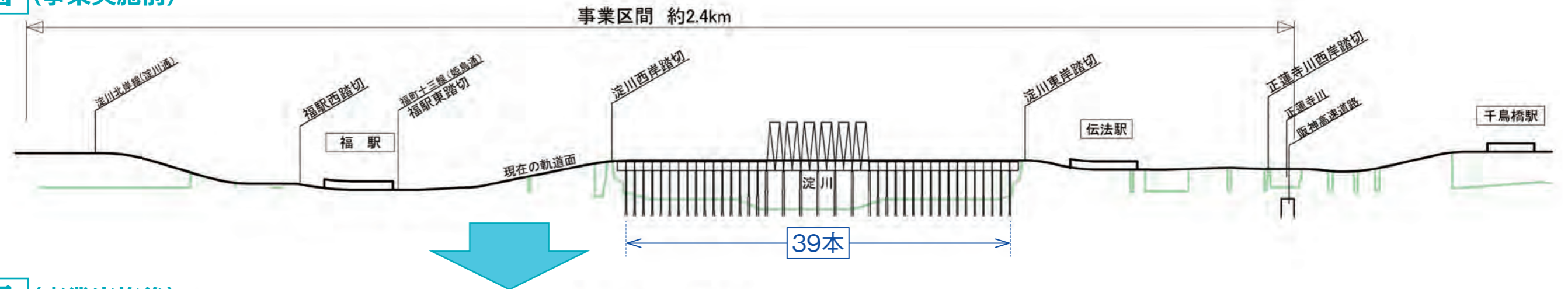
事業延長	約2.4km
主要構造物	淀川橋梁、福駅、伝法駅、高架橋

凡例
 計画鉄道敷
 仮線範囲
 踏切除却

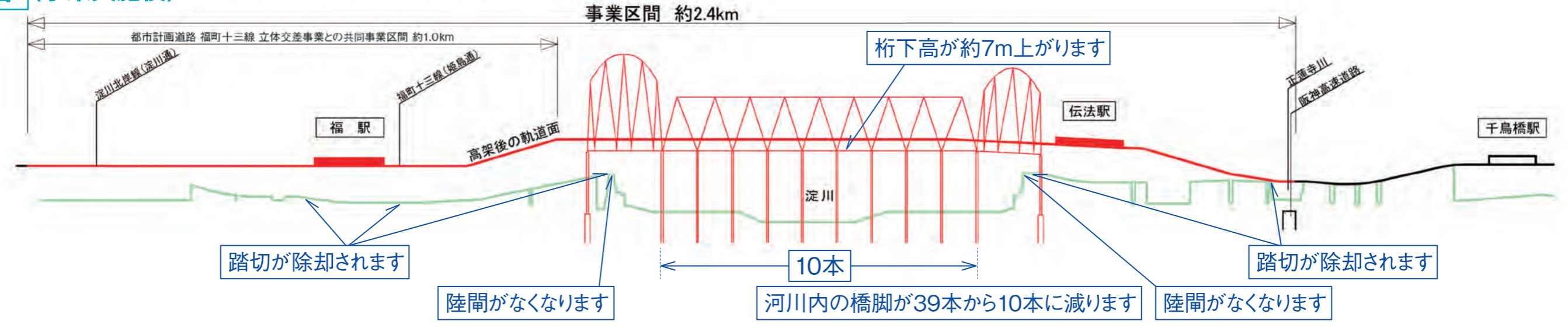
平面図



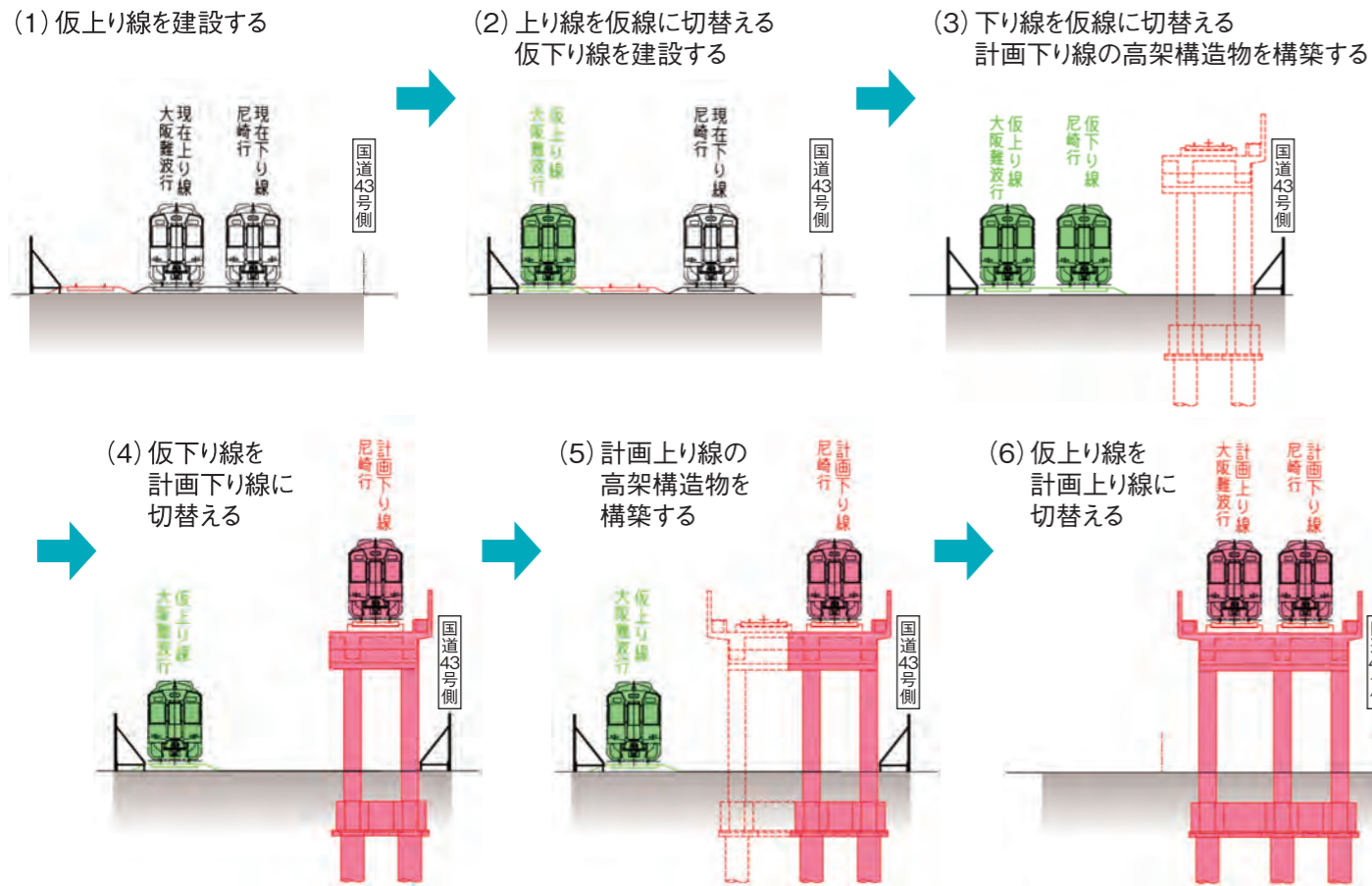
縦断図 (事業実施前)



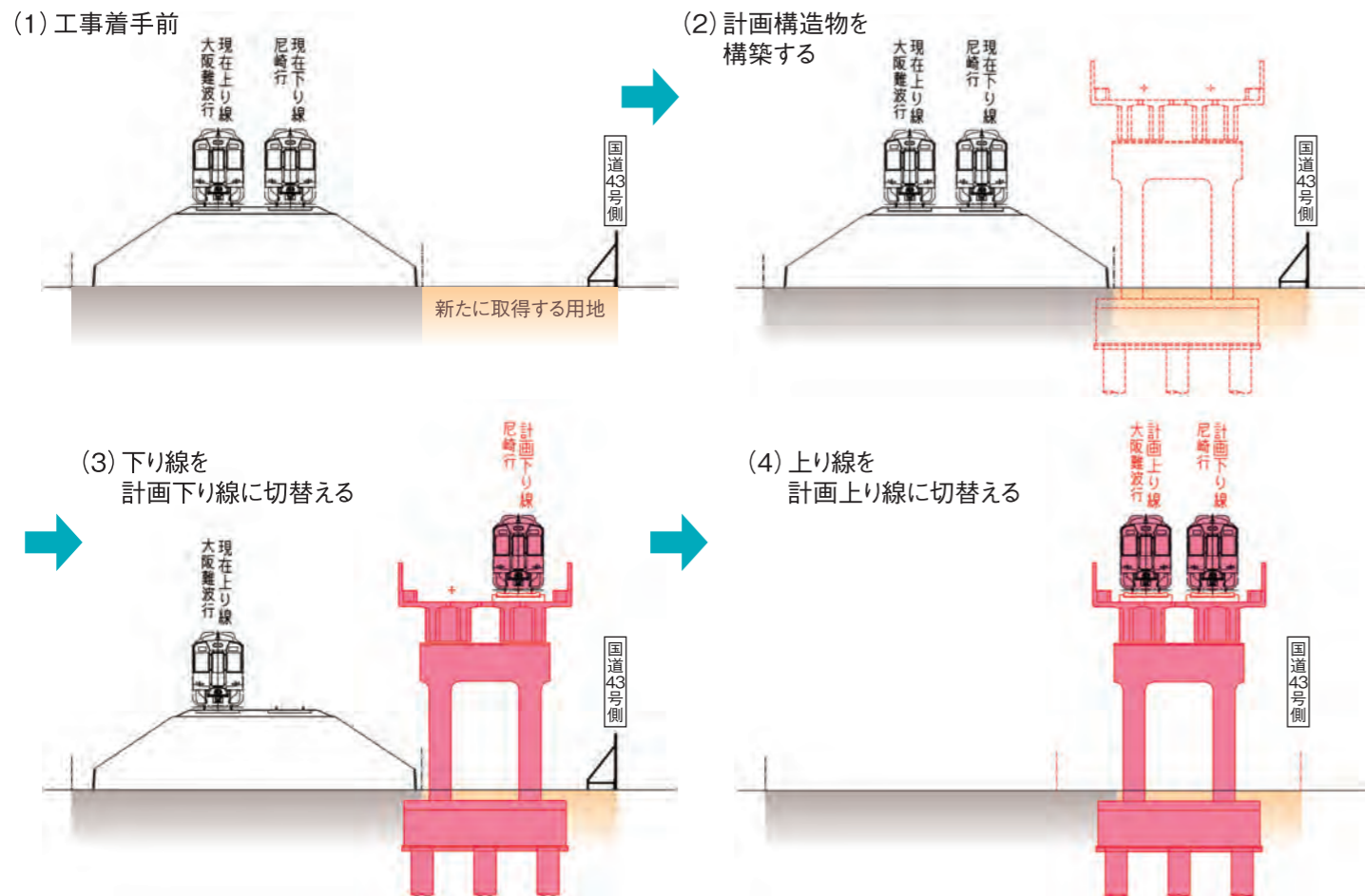
縦断図 (事業実施後)



● 福駅側 (西淀川区) 高架化 施工順序



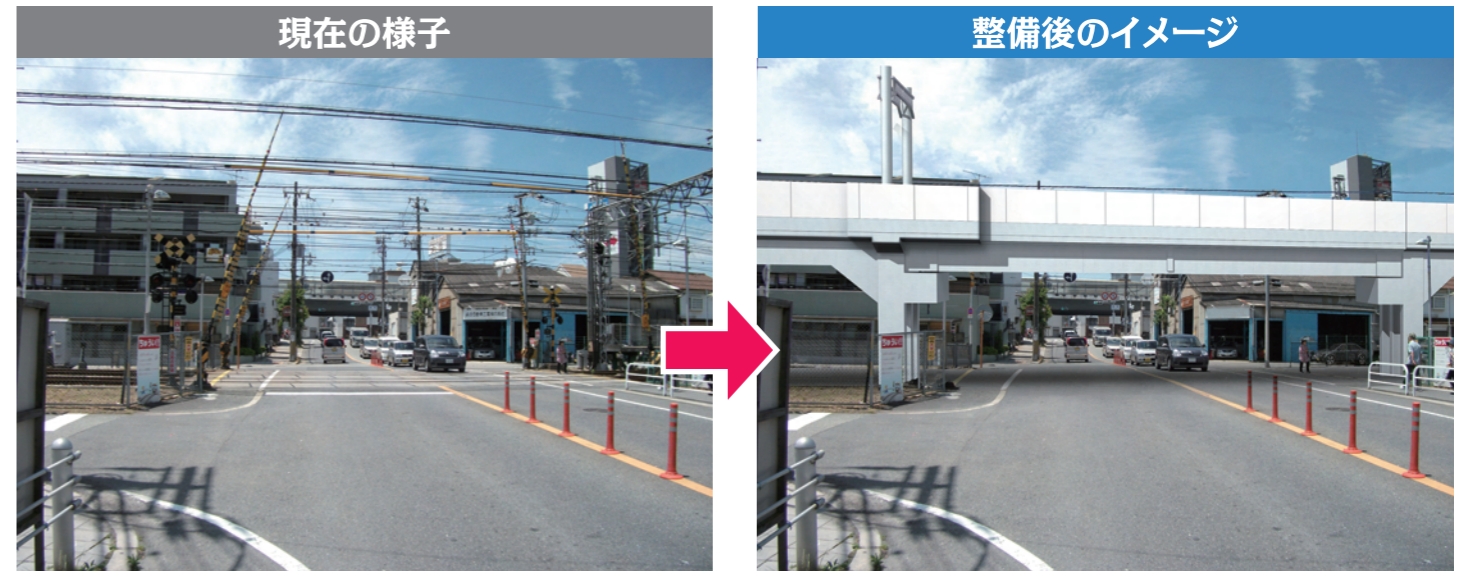
● 伝法駅側 (此花区) 高架化 及び 淀川橋梁部架替 施工順序



橋梁架替



高架化 (踏切除却)



※「整備後のイメージ」は現時点の設計に基づき作成したものですので、今後変更の可能性があります。

